

特別史跡キトラ古墳仮設保護覆屋内機械室 における水漏れと対応について

1. 特別史跡キトラ古墳仮設保護覆屋内機械室の水漏れについて

特別史跡キトラ古墳の壁画の剥ぎ取り作業が行われている仮設保護覆屋において、12月22日、30日、1月6日、2月12日に、石室内の温湿度制御のために設置している空調機器の機械室からの水漏れが確認された。コイル系（冷水循環による温度制御）及び空調系（調温湿度空気を流入）の2系統のうち、いずれも空調系機器の特定ポンプの軸受け部から発生していたため、空調系を一時停止し、確認され次第修理を実施した。なお、コイル系は常時稼動していたため、空調系の一時停止による石室内への大きな影響はなかった。

（参考）これまでの水漏れ発生確認 平成20年7月、平成19年7月

2. 発生の原因調査と今後の対応

2月12日に修理を行った際、水漏れ箇所に粘り気のある物質が確認され、循環水にも汚れが見られた。現在、業者においてその物質と循環水の成分分析を実施しているところである。分析結果が出た段階で、文化庁と業者等による協議を行い、今後の対策を検討する予定である。

